

実施報告書【学校課題実践校用】

学校番号	23
学校名	富山県立大門高等学校

学校の現状と課題	本校は、情報コースを備える普通科単独校として、大門高等学校グランドデザインに基づき、情報教育・環境教育・国際理解教育・地域連携の4本の柱をカリキュラム・ポリシーに掲げて教育活動を実践している。また、その活動を通し、卒業までに身につけてほしい6つの力を設定している。しかし、現状では、将来の目標実現のために積極的に立ち向かおうとする意欲やたくましが乏しい生徒がおり、その生徒達が意欲を持てる機会が必要である。
テーマ(特色)	6つのグラデュエーション・ポリシーを備えた人材育成 ～キャリア教育と探究活動を通して～
設定した「テーマ」の達成状況	年度当初、設定した「テーマ」の達成方法として、「ガイダンス・進路ガイダンスを通し、進路選択や将来について考えを深める。また、4つの柱に関連した講座・研修を開設し、幅広い知識や技能を身に付ける。同時に、課題研究や進路探究活動の実践を通し、生徒が地域・社会の課題や自らの課題を認識し、その解決に向けて試行錯誤することで、本校が伸ばしたい資質能力である6つの力「自ら学ぶ力」、「深く考える力」、「創造する力」、「主体的に行動する力」、「人間関係を形成する力」、「地域に貢献する力」を備えた人材育成を図る。年度末、生徒の自己評価である大門GP(グラデュエーション・ポリシー)を実施する。」としていた。 この実践の中心学年である2年生の大門GPは、1学期末(R6.7月)に平均値2.91点／4点満だったが、3学期末(R7.3月)には平均値3.23点／4点満点に伸びた。
実施内容 (具体的に記入する)	●進路講演会「工学分野」(2年・7月)…二足歩行ロボット競技会指導者の中村英樹氏と競技会に参加した高校生を招き、ロボットの実演を見たり、ロボットに触れたり、高校生からロボット作りに関わる話を聞いたりした。 ●進路講演会「理学分野」(2年理系・情報コース・7月)…東京工業大学より講師を招き、天文分野に関する最先端の研究成果について学んだ。 ●進路講演会「金融分野」(2年文系・7月)…北陸銀行より講師を招き、金融に関する基本的な知識と、将来経済的に豊かな生活を送るために必要な資質について学んだ。 ●情報コース研修「富山県立大学体験実習」(2年情報コース・8月)富山県立大学にて、3つの講座に分かれて、大学教授の指導や大学生のサポートのもと、実習を行った。 ●キャリアガイダンス「大学生に学ぶ」(2年／3年・8月)…本校を卒業した大学生(延べ人数21名)を講師に招き、進路選択のきっかけや高校時の過ごし方、大学生生活の紹介などをテーマに座談会を行った。 ●キャリアガイダンス「職業人に学ぶ」(2年・11月)…保護者や地域から講師を募って実施した。職業別に10講座を設け、社会の先輩方から働く意義や自己実現に対する助言を聞いた。 ●キャリアアップ講座「あなたの夢発見」(1年・12月)株式会社プレスステージ・インターナショナル 富山BPOタウンから講師を招き、自分の良さを発見し、前向きに生きていくためのプラス思考について学んだ。 ●「国際理解講座」(1年・2月)JICA国際協力出前講座を利用し、セネガル共和国でJICA海外青年協力隊の活動経験のある方を講師に招き、現地でのリアルな体験談を聞き、日本との違いを知った。 ●探究活動講座「化学基礎特別講義」(2年化学基礎受講者・2月)日本原子力研究開発機構研究員を講師に招き、炭素14に関する最先端の研究や測定方法について指導を受けた。理系女子の楽しさと、自ら道を切り開くことの大切さを学んだ。 ●探究活動講座「図学および製図入門講座」(1,2年希望者・3月)スギノマシン(株)に勤務されていた方を講師に招き、製図の基本的な工程を体験し、考え方を知ることで、ものづくりやデザインへの関心を高める機会を提供した。
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	キャリア教育・探究活動の両方において、多方面の分野の専門的な内容の講座を提供し、本校生の興味・関心を広げ、知識の習得・深化を促すことができた。「大学生に学ぶ」や「職業人に学ぶ」では、人材を多く揃えて2講座聴講できるように企画し、生徒が主体的に選ぶことを可能にした。少人数で質問等が交わしやすい雰囲気の中、活発な質問・意見交換ができた。いずれの活動も、外部の、年代の異なる講師と接することで、ロールモデルの発見につながり、校内の、同年代との関わりだけでは得られない刺激を得るとともに、高校卒業後の展望を描く機会となった。上記に加え、他の進路探究活動も経て、2年生は、3学期、現時点での第1志望大学の志望動機を完成させるに至った。 上記の各活動においては、ただ参加するのではなく、事前学習を行い、行事の運営(司会担当・計時担当・謝辞担当など)に携わり、振り返り学習したり、成果を発表したりすることで、学び・気づきを深めるとともに協働性・主体性も養ってきた。2年次の学校設定科目「情報課題研究」では、班ごとに学校や地域の課題をテーマに、1年間にわたって探究活動を行い、3学期にはその成果発表会を行うが、生徒たちは、上記の活動を通して身につけた力を十分に発揮し、研究内容・発表態度・会の運営について助言講師や参観した学校評議員から高評価をいただくことができた。このように、プロジェクト学習推進の観点でも、明らかな成果が認められた。
対象者(学年・人数など)	1年・120名、2年・117名、3年・115名
実施実績	4月
	5月
	6月
	7月
	ア)5日 2年進路講演会(工学分野)、イ)9日 2年進路講演会(理学分野・金融分野)
	ウ)6日 2年情報コース 富山県立大学体験実習、エ)9日 2年／23日 3年キャリアガイダンス「大学生に学ぶ」
	8月
	9月
	10月
	11月
	オ)16日 2年職業人に学ぶ
	カ)4日 1年キャリアアップ講座
	1月
2月	キ)4日 1年国際理解講座、ク)5日 2年化学基礎特別講義
	ケ)12,15日 1,2年図学および製図入門講座